

あおぞら・新グローバル・プレミアム・ファンド
追加型投信／内外／資産複合

愛称

ろくよん



ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」および目論見書補完書面をご覧ください。

■ 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

 **あおぞら銀行**

AOZORA
商号等 株式会社あおぞら銀行 登録金融機関 関東財務局長(登金)第8号
加入協会 日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会

■ 設定・運用は

 **あおぞら投信**

AOZORA
商号等 あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2771号
加入協会 一般社団法人投資信託協会

“ろくよん”を通じてお届けしたい想い

「投信を、より良い暮らしに欠かせない
“生活スキル”にしてほしい」

豊かな人生

～選択肢の広がる未来～

～より良い暮らし～

投資

＝
「生活スキル」



知識を使う
タイミング



「そのためにも、より多くの成功体験を
お届けしたいと思っています」

※将来の運用成果をお約束するものではありません。



もっと広く、長く。
“ろくよん”で始める
グローバル徹底分散投資

ろくよん
3つのポイント!



投資の原理原則
を知ろう!

P.3



“ろくよん”を
知ろう!

P.5



“ろくよん”を
始めよう!

P.17



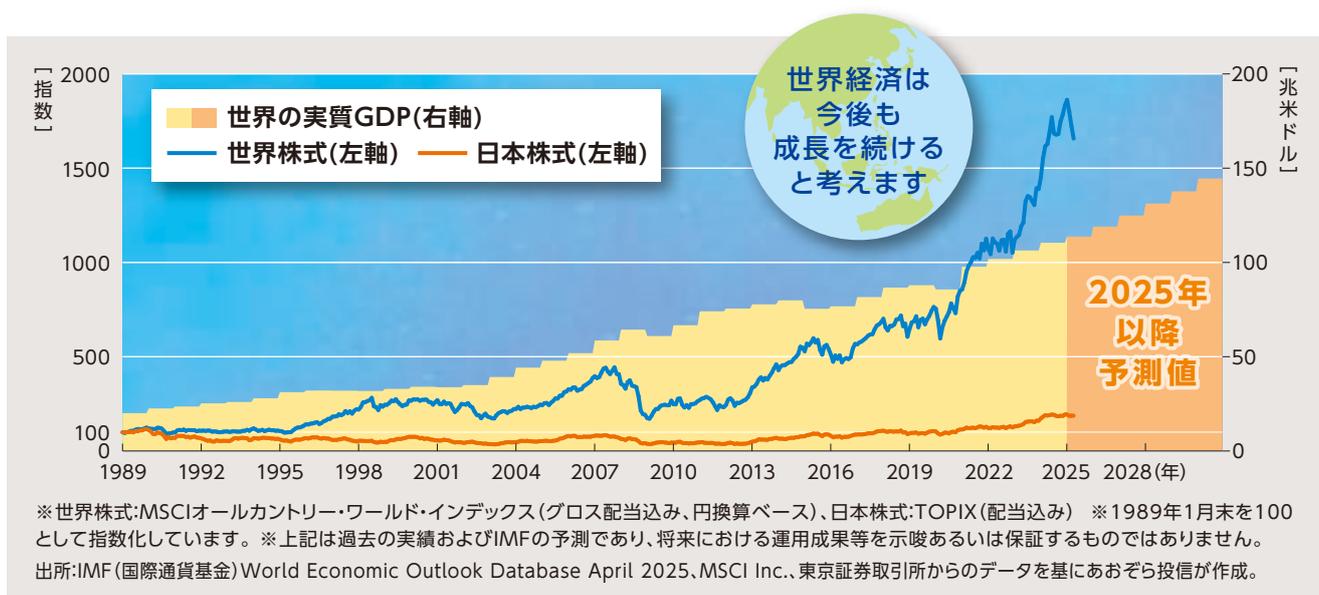
生活において
使える知識

ポイント①

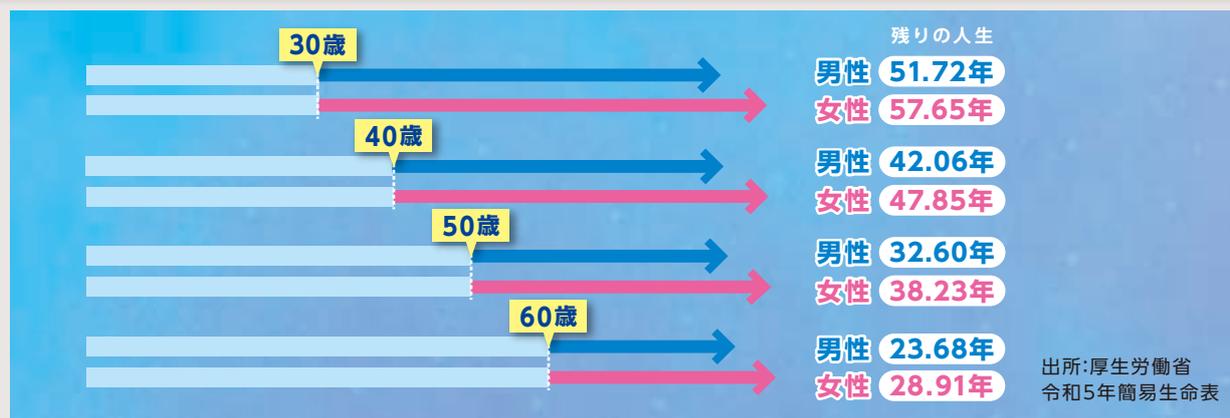
投資の原理原則を知ろう!

ギモン

先行きが不透明な世界情勢でも大丈夫?



運用できる時間は意外と長い! 60歳から始めても20年以上運用できます。



- 長期的には世界経済は成長しており、世界の株価は一時的に下落しても長期的には上昇しています。
- 将来を考えると、コツコツじっくり運用できる時間が必要です。

ギモン

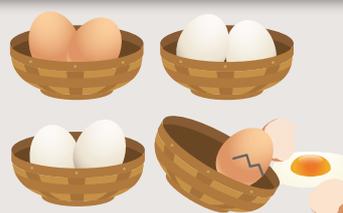
何に投資をすればよいのでしょうか？

投資対象を分散することでリスクを抑えることができます！



〈投資の世界の格言〉
卵はひとつのカゴに盛るな

分散すると



値動きの異なる
さまざまな種類の
資産に**分散投資**すれば
**リスクを抑え、
安定性を増す**ことが
できます！

1つの資産に投資すると、全て割れてしまいます

金融危機（リーマンショック）以降の資産別リターンの推移

毎年、下記の順位表の1位の資産クラスを当て続けることができるならば、とても大きな運用益が得られるでしょう。しかし、毎年値上がりの大きい資産クラスを当て続けることは困難です。

株式:60%(先進国株式、国内株式、新興国株式)と債券:40%(先進国国債)に分散投資した結果はどうなったのでしょうか？ グローバル分散投資が1位になることはなかったものの、5位になることもありませんでした。

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	10年間	15年間
1	先進国債券 3.7%	新興国株式 83.1%	新興国株式 3.6%	先進国債券 1.9%	新興国株式 33.0%	国内株式 54.4%	先進国株式 19.5%	国内株式 12.1%	新興国株式 7.9%	新興国株式 32.5%	先進国株式 64.6%	先進国株式 158.0%
2	グローバル分散投資 -30.7%	先進国株式 33.4%	先進国債券 1.6%	グローバル分散投資 -6.7%	先進国株式 30.3%	先進国株式 53.9%	グローバル分散投資 11.5%	先進国債券 0.5%	先進国株式 4.3%	国内株式 22.2%	グローバル分散投資 57.9%	グローバル分散投資 99.0%
3	国内株式 -40.6%	グローバル分散投資 25.7%	国内株式 1.0%	先進国株式 -10.4%	国内株式 20.9%	グローバル分散投資 29.0%	新興国株式 11.4%	先進国債券 -0.6%	グローバル分散投資 3.0%	先進国株式 18.1%	国内株式 51.4%	国内株式 77.5%
4	先進国株式 -51.8%	国内株式 7.6%	グローバル分散投資 -0.3%	国内株式 -17.0%	グローバル分散投資 19.1%	新興国株式 18.4%	国内株式 10.3%	グローバル分散投資 -1.6%	国内株式 0.3%	グローバル分散投資 12.1%	新興国株式 19.0%	新興国株式 29.1%
5	新興国株式 -62.1%	先進国債券 1.8%	先進国株式 -2.6%	新興国株式 -22.6%	先進国債券 1.7%	先進国債券 0.4%	先進国債券 1.6%	新興国株式 -14.7%	先進国債券 0.1%	先進国債券 -0.5%	先進国債券 13.6%	先進国債券 7.6%

※2008年から2017年は年間のリターン、10年間・15年間は2007年末を起点としたリターンを示しています。

先進国株式：MSCIワールド・インデックス（ネット・配当込み、円換算ベース）、新興国株式：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（ネット・配当込み、円換算ベース）、先進国債券：FTSE世界国債インデックス（1-5年、円ヘッジベース）、国内株式：TOPIX（配当込み）*グローバル分散投資：上記の先進国株式、新興国株式、先進国債券を5:1:4の割合で合成したもの。*インデックスには、直接投資できません。インデックスのパフォーマンスは、実際のポートフォリオ運用に係わる費用を反映していません。過去の実績は、将来の運用成績を示唆・保証するものではありません。



ポイント

長期分散投資と目標（ゴール）の考え方

- 大きな損失を避けるためには… さまざまな資産に投資をしてリスクを分散しよう！
- 相場を当て続けることは難しい… 投資期間とゴールを決めて投資効率を上げよう！

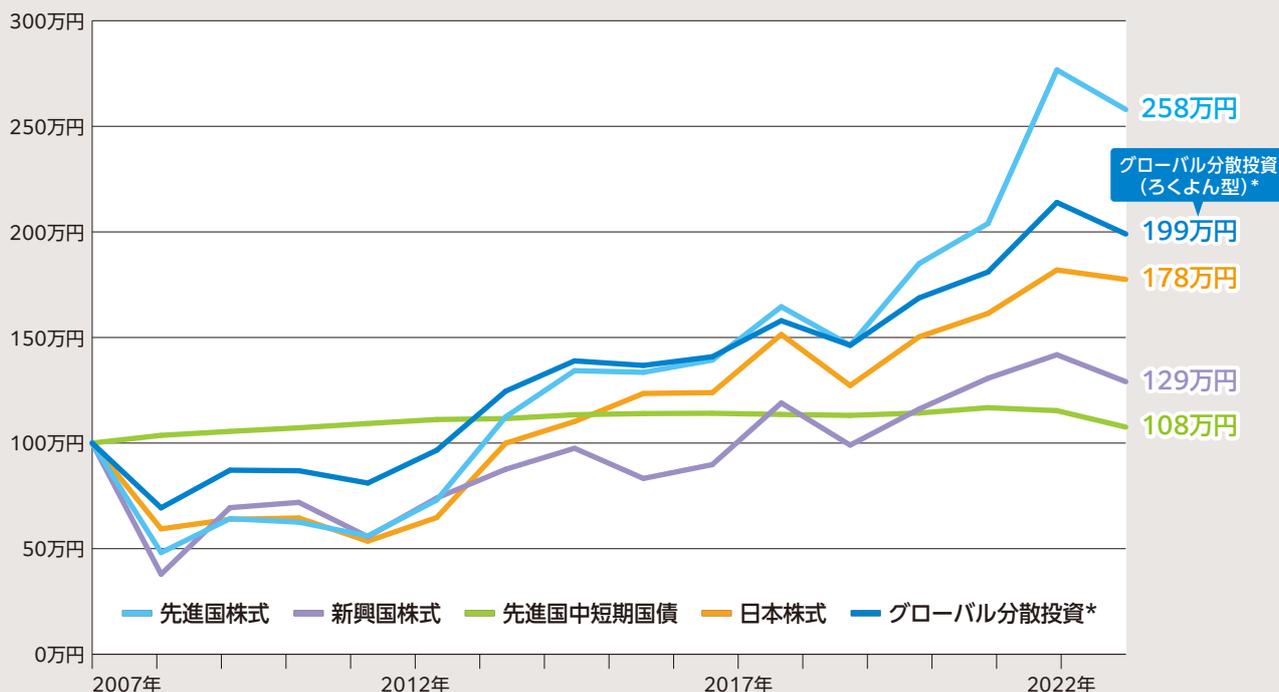
“ろくよん”を知ろう!

ギモン

なぜ世界の成長を味方とする「攻め(株式)」とリスクを抑える「守り

●「ろくよん」のトータルリターン-（「ろくよん」のコスト+インフレ率）= お客さまの資産を育てる想定リターン（おおよそ年率3%程度）と考えます。これを目指す運用が、**おおぞら投信のグローバル分散投資戦略**。

● 2007年末に100万円を投資した場合の資産評価額の推移（2007年末～2022年末）



出所:MSCI Inc.、FTSE、日本取引所グループのデータに基づきおおぞら投信が作成。
 先進国株式:MSCIワールド・インデックス(ネット・配当込み、円換算ベース)、新興国株式:MSCIエマージング・マーケット・インデックス(ネット・配当込み、円換算ベース)、先進国債券:FTSE世界国債インデックス(1-5年、円ヘッジベース)、国内株式:TOPIX(配当込み) *グローバル分散投資(ろくよん型):上記の先進国株式、新興国株式、先進国債券を5:1:4の割合で合成したもの。*インデックスには、直接投資できません。インデックスのパフォーマンスは、実際のポートフォリオ運用に係わる費用を反映していません。過去の実績は、将来の運用成績を示唆・保証するものではありません。



おおぞら投信では、5年、10年、20年・・・とお客さまそれぞれ組入れファンドの運用は、ディメンショナルが学術的研究を応

(債券)」をバランスした「ろくよん」なの？

●あおぞら投信が考えるお客さまの資産を育てる想定リターンを実現させるための効率的な資産配分比率、それが“ろくよん”(株式6:債券4)。

攻め=株式

世界中の可能性に分散投資(為替ヘッジなし)

*先進国株式:約8,000銘柄

新興国株式:約3,600銘柄

組入れファンドにおける銘柄数(2025年4月末現在)



守り=債券

高格付け(AA-以上)の先進国債券(為替ヘッジあり)

※上図は運用手法のイメージ図を委託会社が作成したものです。

それぞれの運用期間と目標(ゴール)に寄り添う運用を目指しています。用いた運用を実践します。ディメンショナルの詳細はP.7-10をご参照ください。

“ろくよん”を知ろう!

組入れファンドの運用は、学術的研究に基づく運用を実践する「ディメンショナル・アイルランド・リミテッド」が行います。

学術的調査に基づいた投資哲学を実践しています

● 組入れファンドの運用

組入れファンドの運用は、ディメンショナル・アイルランド・リミテッドが行います。ディメンショナルは、ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズ・リミテッドおよびその関係会社の総称です。経済分野で世界的に著名な学識経験者がディメンショナルのコンサルタントを務めており、ディメンショナルは学術的研究を応用した運用を実践しています。



ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズ

ディメンショナルは、経済分野で世界的に著名な学識経験者がコンサルタントを務めており、学術的研究を応用した運用を実践しています。

1981年創立

運用資産残高：7,768億米ドル(約122兆円)

従業員数：約1,500名超

※2024年12月末現在、1米ドル=157.35円で換算

上記「ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズ（「ディメンショナル」、「ディメンショナル社」または「Dimensional」ということがあります。）とは、特定の事業体を示すものではなく、世界各国に展開するディメンショナルのグループ企業である Dimensional Fund Advisors LP, Dimensional Fund Advisors Ltd., DFA Australia Limited, Dimensional Fund Advisors Canada ULC, Dimensional Fund Advisors Pte. Ltd., Dimensional Ireland Limited., Dimensional Japan Ltd.とDimensional Hong Kong Limitedを指します。



● ディメンショナルの投資手法

長期リターンが期待できる特性に着目

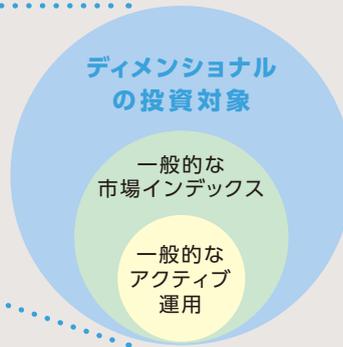
学術研究から得られた特性



長期的・安定的に、一般的なインデックスを上回る収益を目指しています

株式投資の範囲

幅広い銘柄に分散投資



※市況動向や資金動向その他の要因等によっては、上記運用プロセスのような運用ができない場合があります。また、上記運用プロセスは変更される場合があります。※上記は組入れファンドの運用プロセスについて、委託会社が作成したものです。

投資を科学し、お客さまに付加価値の提供を目指します



ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズ
1981年創立



デービッド・ブース氏
[創業者、チェアマン]

「値上がりする銘柄を上手く選べる運用者の数は、確率的に、期待するよりはるかに少ない数しかいません。であれば、なぜそのような運用者を探すのでしょうか。その必要はありません。」



ユージン・ファーマ氏
[ノーベル経済学賞受賞、
ディメンショナル・ディレクター 1
コンサルタント 2]

「新たに発表された研究については慎重に見極め、万全なものかどうかを確認します。」

01

市場に対する
揺るぎない信頼



理念

02

アイデアの源泉
金融サイエンス

03

お客様への
コミットメント



デブ・バトラー氏
[共同チーフ・エグゼクティブ・オフィサー
ディメンショナル・ディレクター 1]

「これまで、そしてこれからも、お客様に素晴らしい経験をしていただくこと。それが私たちの仕事だ。」

01

ディメンショナルの投資アプローチは、経済理論に基づき、何十年に及ぶ実証実験に裏打ちされたものです。

信頼性の低い予測をあてにしたり他者を先読みするのではなく、市場そのものから期待リターンに関する情報を導き出します。

02

ディメンショナルの投資アプローチは、市場に対する信頼に基づいています。

同社のリサーチ・チームは、リターンを追求するに当たって、第一線の金融エコノミストと連携しています。

これまでの研究により、期待リターンを生み出す証券には共通の特性があり、私たちはそれを「ディメンション」と呼んでいます。「ディメンション」と認定されるには、説得力があり、持続性があり、普遍性があり、コスト効率が良いという特性が満たされなければなりません。

03

ディメンショナルの運用は、お客様の投資の成功体験をもたらすことを目指しています。

それは、単に投資リターンへの考察だけにとどまりません。

何十年もの研究に裏付けられた明瞭なアプローチがあらゆる意思決定を支えていることを理解していただき、お客様に安心してもらうことです。

市場は好調な時もあれば厳しい時もあります。ディメンショナルのゴールは、市場の動きに十分備え、投資プランを守り続けることができる運用サービスをお客様に提供することです。

1 ディメンショナル・ディレクターは、Dimensional Fund Advisors LPの実質親会社(ジェネラル・パートナー)の取締役を指します。

2 ユージン・ファーマ教授は、Dimensional Fund Advisors LPにコンサルティング・サービスを提供しています。

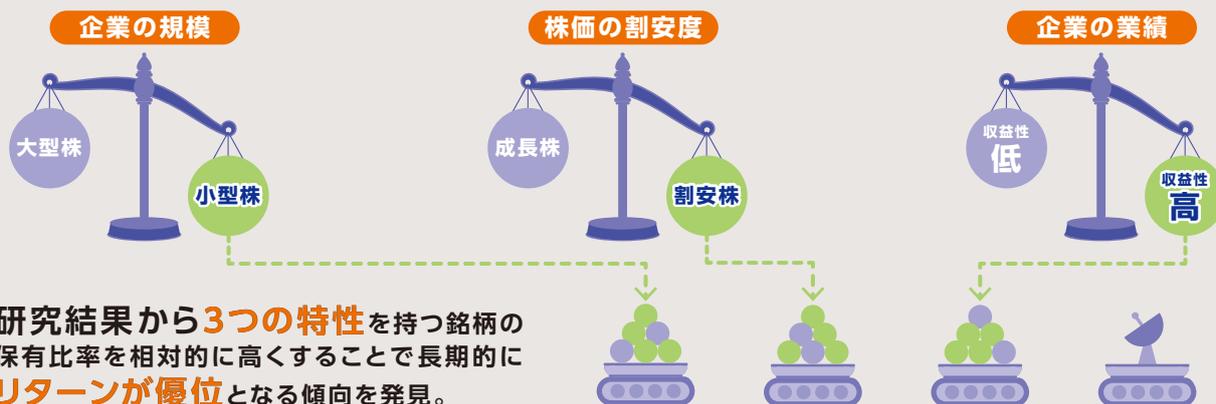
※ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズの許可を得て使用。© 2025 Dimensional Fund Advisors. All rights reserved.

ポイント②

“ろくよん”を知ろう!

株式部分の運用は、個別銘柄に注目するのではなく
データに基づいた特性に着目する低コストの運用手法を採用しています!

●ポートフォリオのイメージ

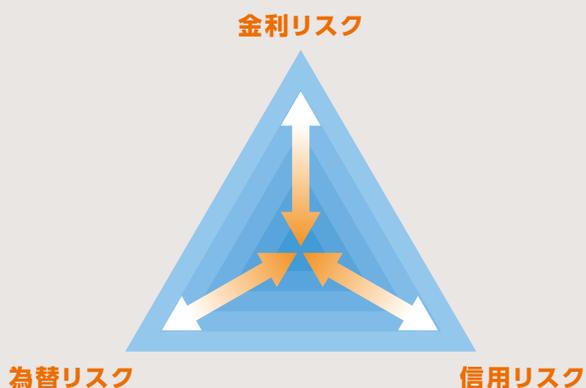


研究結果から**3つの特性**を持つ銘柄の
保有比率を相対的に高くすることで長期的に
リターンが優位となる傾向を発見。

●「ろくよん」と一般的なインデックスファンドを比較したポートフォリオのイメージ



債券部分の運用は、3つのポイントに着目します!



ポイント1 金利リスク

デュレーション・リスクを過度にとらない：
デュレーションを5年以下に抑えることで金利リスクを低減
デュレーションとは…金利の変化に対する債券の価格感応度を示す指標で、
単位は「年」で表示されます。この値が長い(短い)ほど、金利の変化に対する
債券価格の変動率が大きく(小さく)なります。

ポイント2 為替リスク

為替フルヘッジ：為替変動リスクを極力排除

ポイント3 信用リスク

高格付け(原則AA-格以上)の先進国債券に投資：
一定の信用リスク範囲内で利回りを追求

※市況や資金動向その他の要因等によっては、上図のような運用ができない場合があります。また、変更される場合があります。
※上図は運用手法のイメージ図をあおぞら投信が作成したものです。 ※本ファンドはベンチマークを定めておりません。

組入れファンドの運用実績

●ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・コア・エクイティ・ファンド (2025年3月末現在)

	当四半期	過去1年	過去3年	過去5年	過去10年	2014/6/27 設定来
組入れファンド	-6.94%	3.65%	45.29%	189.57%	178.56%	232.65%
MSCIワールド・インデックス (ネット・配当込み、円換算ベース)	-7.70%	6.24%	51.28%	191.22%	207.10%	271.60%
超過収益	0.76%	-2.59%	-5.99%	-1.65%	-28.53%	-38.95%

●ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー エマージング・マーケット・バリュー・ファンド

	当四半期	過去1年	過去3年	過去5年	過去10年	2014/6/27 設定来
組入れファンド	-2.22%	6.39%	37.00%	165.42%	97.18%	108.10%
MSCIエマージング・マーケット・バリュー・インデックス (ネット・配当込み、円換算ベース)	0.00%	8.29%	34.92%	130.27%	74.43%	86.98%
超過収益	-2.22%	-1.90%	2.08%	35.14%	22.75%	21.12%

●ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショート・フィクスト・インカム・ファンド

	当四半期	過去1年	過去3年	過去5年	過去10年	2014/6/27 設定来
組入れファンド	0.09%	-0.08%	-5.21%	-10.29%	-9.78%	-7.82%
FTSE世界国債インデックス (1-5年、円ヘッジベース)	0.46%	0.12%	-5.72%	-8.99%	-7.11%	-6.12%
超過収益	-0.37%	-0.20%	0.51%	-1.31%	-2.67%	-1.71%

出所:ディメンショナル・ファンズ・アドバイザーズ、MSCI Inc、FTSE Fixed Income LLCからのデータに基づき、あおぞら投信が作成。

- 組入れファンドのリターンは報酬控除後。
- インデックスには直接投資できません。インデックス・リターンは実際のポートフォリオに係る費用を反映していません。
- 上記の表で使用しているインデックスは、本ファンドの基準価額算出時に使用する組入れファンドの対象期間に合わせて算出しています(通常、現地時間前日の指数を基に算出)。
- 過去の実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

投資のイメージをシミュレーションで見てください!

“ろくよん”を知ろう!

投資期間と目標(ゴール)の考え方とは?(一括投資の場合)

以下のシミュレーションは、「ろくよん」の運用手法で運用した場合の収益率の全シミュレーション
 なお、運用開始月が2004年5月から2020年4月までの192回分のシミュレーションについては、

目標(ゴール)到達に必要な時間

●何年くらい投資をしたらよいのでしょうか? 目標達成までの時間をシミュレーションで見てください!

運用目標達成額*1	最長	平均	最短
250万円*2	20年0ヶ月	17年5ヶ月	14年6ヶ月
200万円	16年8ヶ月	12年10ヶ月	10年8ヶ月
180万円	13年10ヶ月	10年8ヶ月	4年2ヶ月
150万円	8年10ヶ月	4年0ヶ月	2年0ヶ月
130万円	5年9ヶ月	2年6ヶ月	0年10ヶ月
115万円	4年8ヶ月	1年7ヶ月	0年3ヶ月
110万円	4年6ヶ月	1年3ヶ月	0年2ヶ月

●目標(ゴール)達成の可能性はどれくらいあるのでしょうか? 目標達成の確率をシミュレーションで見てください!

運用目標達成額*1	1年	3年	5年	10年	15年	20年
250万円*2	0%	0%	0%	4%	57%	99%
200万円	0%	0%	0%	56%	96%	100%
180万円	0%	0%	16%	74%	100%	100%
150万円	0%	32%	85%	100%	100%	100%
130万円	2%	81%	97%	100%	100%	100%
115万円	24%	91%	100%	100%	100%	100%
110万円	47%	93%	100%	100%	100%	100%

*1… 100万円からスタートした場合の運用目標です。*2… 20年間で250万円未達のものはありません。



ポイント

投資元本にマイナス(損失)が生

上記は組入れファンドが参照するインデックスによるシミュレーションであり、すべてのケース

インデックスには、直接投資できません。インデックスのパフォーマンスは、実際のポートフォリオ運用に係わる費用を反映していません。インデック

【本シミュレーションで使用している指数について】
 <先進国株式>MSCIワールド・インデックス(ネット、配当込み、円換算ベース) MSCIワールド・インデックスとは、MSCIが開発した株価指数で、
 込み、米ドルベース)を基にあおぞら投信が算出したものです。<新興国株式>MSCIエマージング・マーケット・バリュール・インデックス(ネット、配
 で構成されています。MSCIエマージング・マーケット・バリュール・インデックス(ネット、配当込み、円換算ベース)は、MSCIエマージング・マーケッ
 (1-5年、円ヘッジベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界の国債の総合利回りを指数化した債券インデックスです。

結果です。(運用開始月を2001年1月から2020年4月まで1ヶ月ずつずらして計算。全232回)
 2025年3月末までの収益率を記載しています。(運用期間は5年以上、20年未満)

1万円投資したら〇年後にいくらになるの？

● 設定後20年間の基準価額(1万口当たり最大・最小・平均値)のシミュレーションを見てみましょう!

	5年	10年	15年	20年
プラス回数	200	172	112	52
マイナス回数	32	0	0	0
プラス確率	86.2%	100.0%	100.0%	100.0%



● 投資でマイナスになったらどうしたらよいのでしょうか?
 投資元本がマイナス(損失)からプラス(収益)になるまでの期間(5年後にマイナスのパターン)

5年後の基準価額	回数 ^{*3}	10,000円	11,500円	13,000円	15,000円	18,000円	20,000円	22,000円	25,000円
9,000円台	平均	1年1ヶ月	1年9ヶ月	3年1ヶ月	5年1ヶ月	8年8ヶ月	9年8ヶ月	10年11ヶ月	12年5ヶ月
	最長	1年10ヶ月	2年4ヶ月	4年0ヶ月	7年7ヶ月	9年10ヶ月	10年6ヶ月	11年11ヶ月	12年9ヶ月
	最短	0年1ヶ月	0年7ヶ月	2年4ヶ月	3年5ヶ月	7年1ヶ月	8年2ヶ月	10年3ヶ月	11年11ヶ月
8,000円台	平均	0年10ヶ月	1年10ヶ月	3年8ヶ月	6年4ヶ月	8年11ヶ月	10年3ヶ月	11年6ヶ月	12年1ヶ月
	最長	1年4ヶ月	4年0ヶ月	4年10ヶ月	8年1ヶ月	9年5ヶ月	11年1ヶ月	11年9ヶ月	12年1ヶ月
	最短	0年2ヶ月	0年10ヶ月	2年8ヶ月	3年8ヶ月	7年9ヶ月	8年7ヶ月	11年3ヶ月	12年1ヶ月
7,000円台	平均	0年11ヶ月	3年0ヶ月	4年11ヶ月	8年0ヶ月	9年2ヶ月	—	—	—
	最長	1年11ヶ月	3年9ヶ月	4年11ヶ月	8年6ヶ月	9年2ヶ月	—	—	—
	最短	0年10ヶ月	2年2ヶ月	4年11ヶ月	7年6ヶ月	9年1ヶ月	—	—	—
合計	平均	1年0ヶ月	1年11ヶ月	3年5ヶ月	5年11ヶ月	8年10ヶ月	10年0ヶ月	11年2ヶ月	12年5ヶ月
	最長	1年10ヶ月	4年0ヶ月	4年11ヶ月	8年6ヶ月	9年10ヶ月	11年1ヶ月	11年11ヶ月	12年9ヶ月
	最短	0年1ヶ月	0年7ヶ月	2年4ヶ月	3年5ヶ月	7年1ヶ月	8年2ヶ月	10年3ヶ月	11年11ヶ月

*3… 5年後の価格が9,000円台、8,000円台、7,000円台であった回数と、それらの合計回数をそれぞれ示しています。

じても、一喜一憂せずに回復を待つことも大切です。

を説明しているものではありません。(組入れファンドの詳細はP.17以降をご参照ください。)

スのパフォーマンスと組入れファンドのパフォーマンスは異なります。過去の実績は将来の運用成績を示唆あるいは保証するものではありません。

世界の先進国で構成されています。MSCIワールド・インデックス(ネット、配当込み、円換算ベース)は、MSCIワールド・インデックス(ネット、配当込み、円換算ベース) MSCIエマージング・マーケット・バリュー・インデックスとは、MSCIが開発した株価指数で、世界の新興国のバリュー株式ト・バリュー・インデックス(ネット、配当込み、米ドルベース)を基にあおぞら投信が算出したものです。<先進国債券>FTSE世界国債インデックス

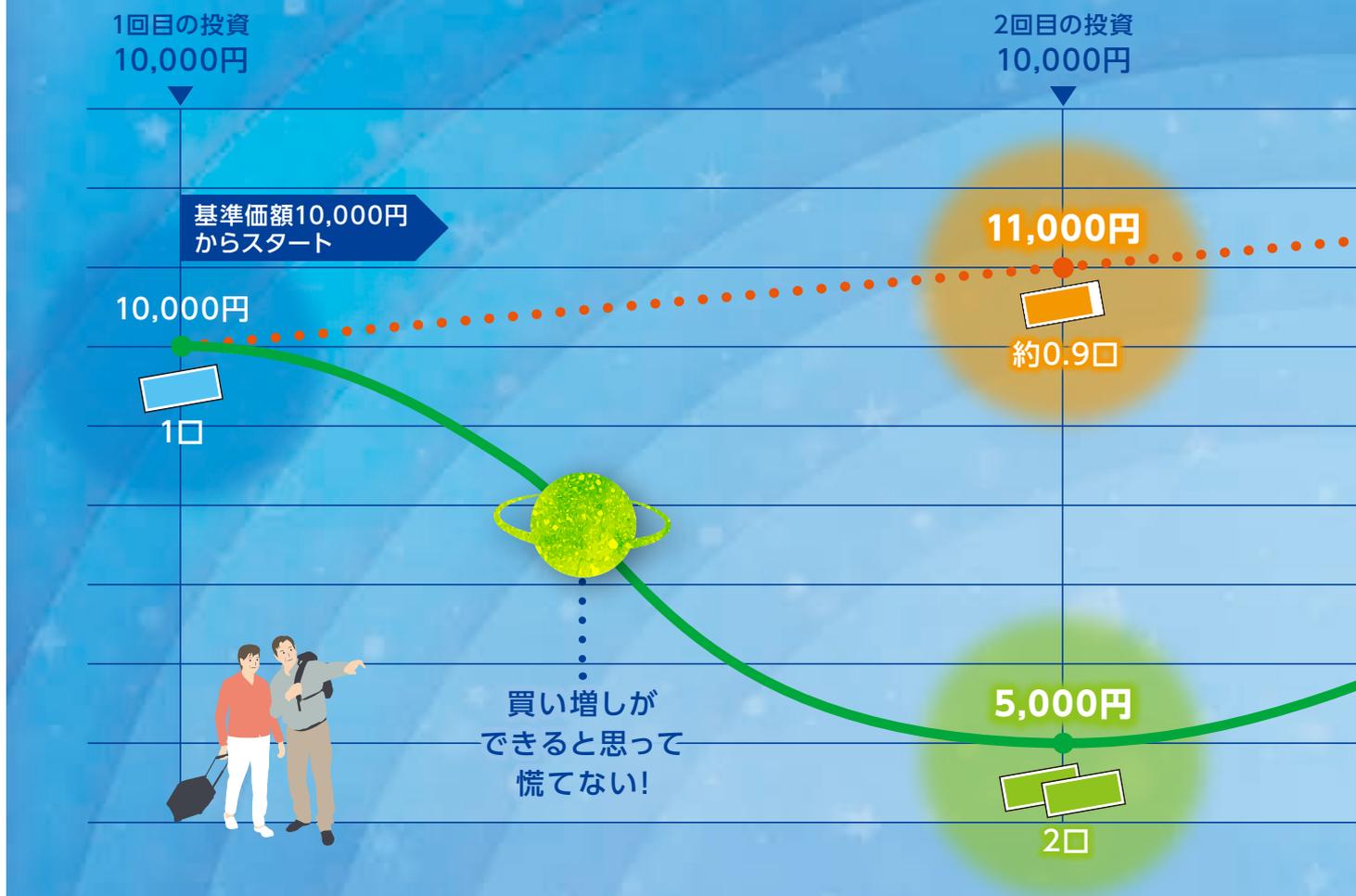
“ろくよん”を知ろう!

投資期間と目標(ゴール)の考え方とは?(積立投資の場合)

上下する投資信託の基準価額の下落も味方にできる

いつも同じペースで続けることが重要! 価格は上昇する時、下落する時、

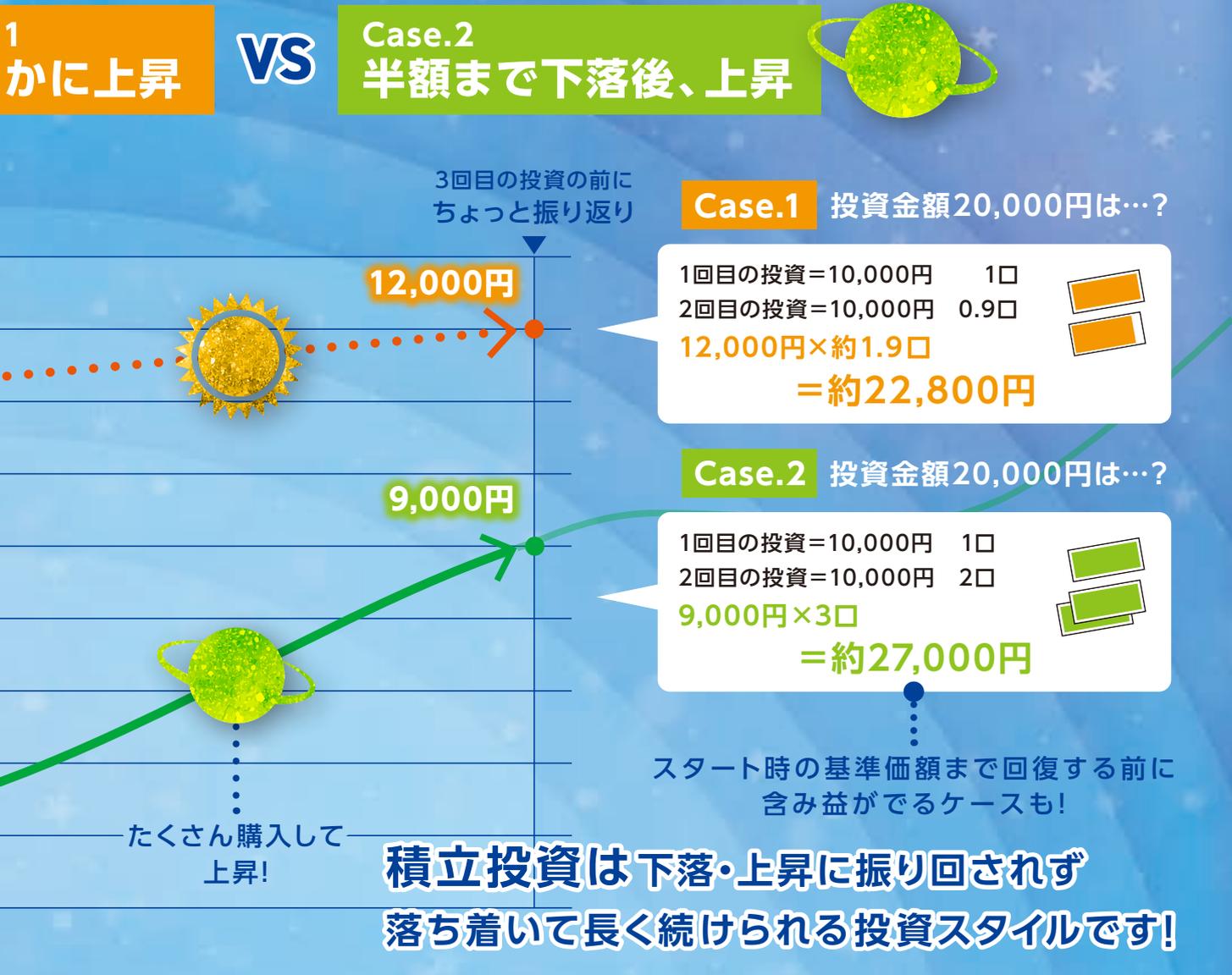
毎月10,000円ずつ積立投資



上記はあくまでも積立投資を分かり易く図示したイメージ図であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。またすべて

「積立投資」!

動かない時、様々です。様々な状況に応じてお金に働いてもらいましょう!



のケースを網羅しているものではありません。投資信託は値動きのある有価証券等に投資するため、基準価額は変動します。

“ろくよん”を知ろう!

投資期間と目標(ゴール)の考え方とは?(積立投資の場合)

以下のシミュレーションは、「ろくよん」の運用手法で運用した場合の収益率の全シミュレーション
 なお、運用開始月が2004年5月から2020年4月までの192回分のシミュレーションについては、

シミュレーションの結果は?

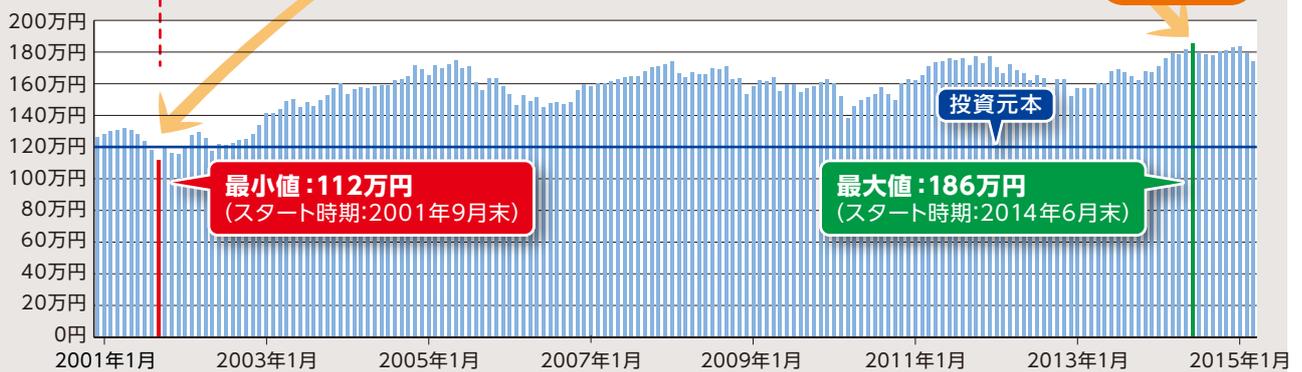
● 毎月1万円「ろくよん」に積立投資した場合のシミュレーション

グラフ1



● 上図の10年間、1万円ずつ積み立てた場合(元本120万円)を抜き出したすべてのパターン(全172回)

グラフ2



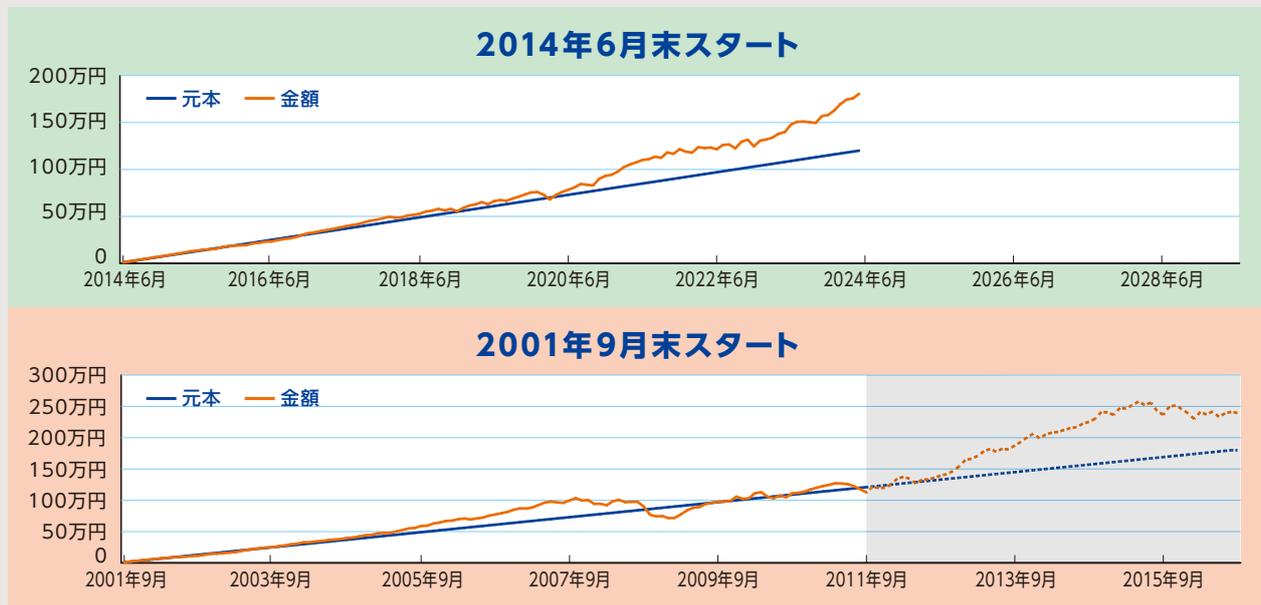
上記は組入れファンドが参照するインデックスによるシミュレーションであり、すべてのケース

インデックスには、直接投資できません。インデックスのパフォーマンスは、実際のポートフォリオ運用に係わる費用を反映していません。インデック
 【本シミュレーションで使用している指数について】

<先進国株式>MSCIワールド・インデックス(ネット、配当込み、円換算ベース) MSCIワールド・インデックスとは、MSCIが開発した株価指数で、
 込み、米ドルベース)を基にあおぞら投信が算出したものです。<新興国株式>MSCIエマージング・マーケット・バリュー・インデックス(ネット、配
 で構成されています。MSCIエマージング・マーケット・バリュー・インデックス(ネット、配当込み、円換算ベース)は、MSCIエマージング・マーケッ
 (1-5年、円ヘッジベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界の国債の総合利回りを指数化した債券インデックスです。

結果です。(運用開始月を2001年1月から2020年4月まで1ヶ月ずつずらして計算。全232回)
 2025年3月末までの収益率を記載しています。(運用期間は5年以上、20年未満)

最大値・最小値の金額の推移



- 10年積立の全172回中マイナスは7回
- 全てのケースで1年延長するとプラスに転換



を説明しているものではありません。(組入れファンドの詳細はP.17以降をご参照ください。)
 スのパフォーマンスと組入れファンドのパフォーマンスは異なります。過去の実績は将来の運用成績を示唆あるいは保証するものではありません。

世界の先進国で構成されています。MSCIワールド・インデックス(ネット、配当込み、円換算ベース)は、MSCIワールド・インデックス(ネット、配当込み、円換算ベース) MSCIエマージング・マーケット・バリュアブル・インデックスとは、MSCIが開発した株価指数で、世界の新興国のバリュアブル・インデックス(ネット、配当込み、米ドルベース)を基にあおぞら投信が算出したものです。 <先進国債券>FTSE世界国債インデックス

ポイント③ “ろくよん”を始めよう!

ファンドの特色

① 世界の株式・債券に分散投資

● 投資信託証券を通じて日本を含む世界の株式(新興国の株式を含みます。)

および債券に広く分散投資を行うことで、インカムゲインの獲得と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。

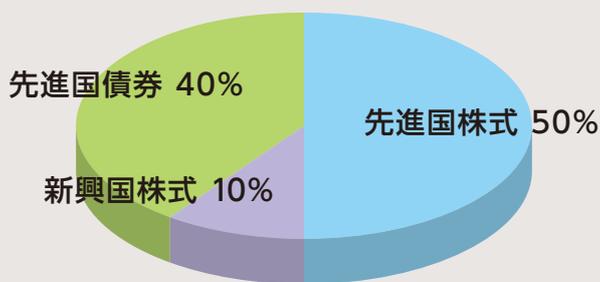
投資する外国投資信託証券(以下、「組入れファンド」といいます。)

先進国株式	ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー	グローバル・コア・エクイティ・ファンド
新興国株式	ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー	エマージング・マーケット・バリュー・ファンド
先進国債券	ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー	グローバル・ショート・フィクスト・インカム・ファンド

● 投資信託証券の組入比率は原則として高位を保ちます。

なお、投資対象資産毎の投資信託証券への配分比率は下記の通りとすることを基本とします。

投資対象とする投資信託証券	配分比率の合計
グローバル株式(先進国株式、新興国株式)	概ね60%程度
グローバル債券	概ね40%程度



※上記組入比率は概算値です

市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

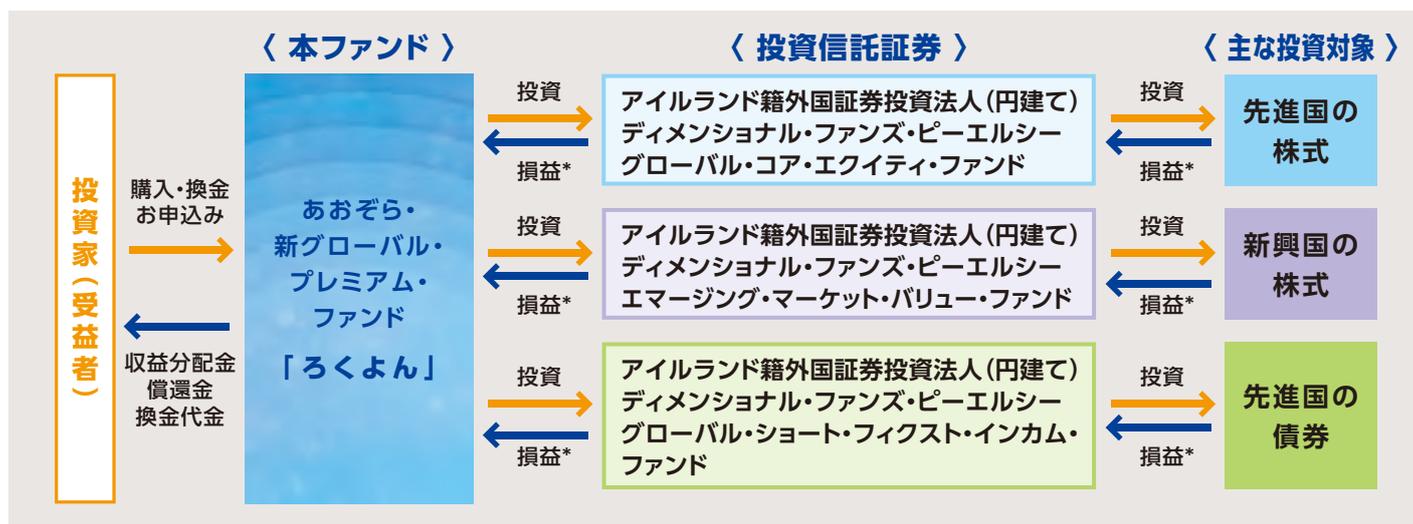
② 学術研究に基づく運用

組入れファンドの運用は、学術的研究に基づく運用を実践する「ディメンショナル・アイルランド・リミテッド」が行います。

市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

ファンドの仕組み

本ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。運用に当たってはディメンショナル・アイルランド・リミテッドが運用する投資信託証券のうち、本ファンドの運用戦略を行うために必要と認められる下記の投資信託証券を主要投資対象とします。



※上記は有価証券届出書提出日現在の指定投資信託証券の一覧です。指定投資信託証券については見直されることがあります。この場合、新たに投資信託証券を指定したり、既に指定されていた投資信託証券を除外する場合があります。

*損益はすべて投資家である受益者に帰属します。

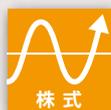
投資リスク

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資を行いますので、基準価額は変動します。また、為替の変動による影響を受けます。したがって、**投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**本ファンドの信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資家の皆さまに帰属します。

主な変動要因

● 株価変動リスク



本ファンドは実質的に株式に投資を行いますので、株価変動リスクを伴います。一般に株式市場が下落した場合には、本ファンドが実質的に投資を行う株式の価格は下落し、本ファンドの基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。また、株式の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合、当該企業の株式の価格が大きく下落し、本ファンドの基準価額により大きな影響を及ぼします。なお、本ファンドは一部新興国の株式に投資を行います。新興国の株価変動は先進国以上に大きいものになることが予想されます。

● 為替変動リスク



本ファンドの実質的な主要投資対象は外貨建資産であり、一般に為替変動リスクを伴います。本ファンドの株式部分については原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を直接的に受け、円高局面ではその資産価値を大きく減少させる可能性があります。本ファンドの債券部分については、投資対象ファンドにおいて為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、投資対象資産および投資対象資産から生じる収益の全てを完全にヘッジできるとは限りません。なお、為替ヘッジを行うにあたりヘッジ・コストがかかります(ヘッジ・コストとは、ヘッジ対象通貨の金利と円金利の差に相当し、円金利の方が低い場合この金利差分収益が低下します。)

● 債券価格変動リスク



本ファンドは実質的に債券に投資を行いますので、債券価格変動リスクを伴います。一般に債券の市場価格は、金利が上昇すると下落し、金利が低下すると上昇します。投資対象とする国・地域の金利が上昇し、保有する債券の価格が下落した場合には、本ファンドの基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。また、債券への投資に際しては、発行体の債務不履行(デフォルト)等の信用リスクを伴います。一般に、発行体の信用度は第三者機関による格付で表されますが、格付が低いほど債務不履行の可能性が高いことを意味します。発行体の債務不履行が生じた場合、債券の価格は大きく下落する傾向があるほか、投資した資金を回収できないことがあります。また、債務不履行の可能性が高まった場合(格下げ等)も債券価格の下落要因となります。一般に、債券価格の変動幅および信用リスクは、残存期間が長いほど、また発行体の信用度が低いほど、大きくなる傾向があります。

● カントリー・リスク



本ファンドの株式部分において、一部新興国の株式に投資を行いますので、カントリー・リスクを伴います。新興国市場への投資には、先進国市場への投資と比較して、社会・政治・経済の不確実性、市場規模が小さい故の低い流動性、通貨規制および資本規制、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートや現地通貨交換に要するコストの大きな変動、外国への送金規制等の影響を受けて、本ファンドの基準価額が大きく変動する可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

手続・手数料等

詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」および目論見書補完書面をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせください。

お申込みメモ (あおぞら銀行でお申込みの場合)

購入単位	1,000円以上1円単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が指定する日までにお支払いください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目から、お申込みの販売会社を通じてお支払いいたします。
購入・換金申込不可日	アイルランド証券取引所の休業日、ロンドン証券取引所の休業日またはニューヨーク証券取引所の休業日
信託期間	原則として無期限(設定日:2024年1月31日)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には繰上償還となる場合があります。
決算日	毎年4月20日(ただし、休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回(4月20日)の決算時に原則として収益の分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ※運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合や、分配金が支払われない場合があります。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。当ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。原則、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益(法人の場合は個別元本超過額)が課税の対象となります。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。

ファンドの費用 (あおぞら銀行でお申込みの場合)

投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料	なし	
信託財産留保額	なし	
投資者が直接的に負担する費用		
運用管理費用 (信託報酬)	本ファンドの運用管理費用(信託報酬):純資産総額に対して	年率0.748%(税抜0.680%)
	投資対象とする投資信託証券の運用報酬:資産総額に対して	最大で年率0.235%程度*1
	実質的な負担:純資産総額に対して	年率0.983%(税込)程度*2
*1 投資対象とする投資信託証券を、投資方針に基づき組み入れた場合の最大値をあおぞら投信が算出したものです。 *2 本ファンドの信託報酬に本ファンドが投資対象とする投資信託証券の運用報酬を合わせた、投資者が実質的に負担する信託報酬です。 ※運用管理費用は、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。		
その他の費用・ 手数料	信託事務の 諸費用	監査費用、印刷費用等、信託事務の諸費用が信託財産の純資産総額の年率0.1%を上限として日々計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。また、投資対象とする投資信託証券において管理報酬等が別途加算されますが、当該投資信託証券の資産規模ならびに運用状況等に応じて変動するため、受益者が実質的に負担する当該管理報酬等の率および総額は事前に表示することができません。
	売買委託 手数料等	有価証券売買時の売買委託手数料、借入金・立替金の利息、ファンドに関する租税等がファンドから支払われます。これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※上記手数料等の合計額については、ファンドの保有期間に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社その他関係法人の概要について

- あおぞら投信株式会社(委託会社) : 信託財産の運用の指図等を行います。
- 三井住友信託銀行株式会社(受託会社) : 信託財産の保管・管理等を行います。
- 株式会社あおぞら銀行(販売会社) : 本ファンドの販売業務を行います。

あおぞら投信株式会社

電話 : 050-3199-6343 [受付時間 : 営業日の午前9時から午後5時まで] ホームページ・アドレス : <https://www.aozora-im.co.jp/>

注意事項

本資料のご利用にあたっての留意事項等

■本資料は、あおぞら投信株式会社(以下「当社」または「委託会社」ということがあります。)が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡しいたしますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資するため、基準価額は変動します。したがって、投資元本および分配金が保証された商品ではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。■本資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります。■本資料に記載された市況や見通し(図表、数値等を含みます。)は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。■投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。また、証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。■投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。

本資料で使用している指数(インデックス)の著作権などについて

配当込みTOPIX(以下「TOPIX(配当込み)」といいます。)の指数値及びTOPIX(配当込み)に係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIX(配当込み)に関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIX(配当込み)に係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIX(配当込み)の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。MSCI各種インデックス*は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。(*MSCI各種インデックス:MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス、MSCIワールド・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・バリュー・インデックス)

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。



AOZORA

あおぞら投信

お客様の大切な資産を全力で守り、育てていく
長くお付き合いいただける運用会社に